

つばめだより

<https://www.seishinchiku-catholic.com/>306号 2026年
9月〒424-0931 静岡市清水区岡町 1-3 4
TEL 054-368-5295 FAX 054-368-5292

「主は打ち砕かれた心に近くいまし

悔いる霊を救ってくださる。」

(詩編 34・18)

「教会を見せてください」

静岡・千代田・八幡教会主任司祭 古川 勉

今年4月、清水教会の献堂式が行われました。幾多の困難を乗り越えられ、あのように美しく立派な教会が完成されたことは、とても喜ばしいことです。これまでの労苦をねぎらい、それと共に清水教会の建物が末永く有効に活用されるよう祈りたいものです。あの綺麗な教会に引かれて「教会を見せてください」と、訪問する人も多いかと思います。

「教会を見る」と言えば、私のいる静岡教会も駿府城内にあるという立地状況から時々、「教会を見せてください」という電話や、突然の訪問があったりします。清水教会と違って、だいぶ年月が経った静岡教会の建物を見て、どのような印象をもたれたか、たまに気になりますが、信徒以外の方で、このように来訪されるのは、少しキリスト教や教会に触れてみたくて見に来られるのかもしれませんが。

「教会を見せてください」。・・・そもそも教会とは何でしょうか。歴史を振り返ってみますと教会がこうした聖堂や信徒会館のような資産を保有し始めたのは4世紀初頭からのことです。それまでは個人の家の広間、町の広場、迫害時代には地下墓地（カタコンベ）などで集まっていた。ですからパウロ書簡の「コリントの教会へ」「ガラテヤの諸教会へ」などとあるのはコリントの町やガラテヤ州のどこかに教会所在地があったというのではなく、その地域、その地方に集まる「キリスト者の集まり」そのものに向けて言う言葉でした。実に「教会」と訳しているギリシャ語「エクレジア」は建物を指して言う概念は全く無く、「キリストを慕って集まる人々の集まり」そのものに向かって言う言葉でした。

そうすると「教会を見せる」という言葉の本来の意味は、建物を見せるということではなく、わたしたち自身を見せることになります。すなわちキリストを信じ、慕い、祈るがゆえに、わたしたち一人一人が身近な人間関係の諸内容から地域、日本、国際社会の実に様々な出来事、政治、経済、教育、福祉、環境・・・等の状況下で何を評価し、何を称賛し、何を問題としてとらえ、どのような価値観や信念、憧れをもち、どういう関係性や社会を構築しようとして祈り、生きているのか。それを紹介、披露することが、本来の「教会を見せる」ことと言えるのでしょうか。

またそうすると「多くの人を教会に招きたい、教会に来る人を増やしたい」という言葉の本来の意味も、ただ何とかして教会の建物に多くの人を呼び込む、出入りの人を増やしたいということよりも、上記のようなわたしたちを取り巻く様々な関係性、環境、社会的状況下で、キリストと同じ価値観、目的、信念、心情に合致した判断、選択、実践の輪に多くの人々が賛同する、増殖していく、巻き込まれていってほしいという思いを言っている言葉としてとらえることができます。実にわたしたち教会全体がもっている価値観、方向性からくる個人や社会とのかかわり方、立っている地平線の質があらためて問われるのかとも思います。

建物だけでなく、本当の意味で、わたしたち自身、世の中に対して立派な「教会を見せる」ことができるよう共に発展、成長することを祈りたいと思います。



2026年 今後の予定と奉仕者表

月日	曜日	時間	典礼・祭日・祝日等	時間	集い・各部活動及び内容
9月					
3	木	10:00	平日のミサ		
4	金	10:00	初金のミサ(草薙教会)		
5	土			13:30 15:30	静清地区聖書研究会(静岡教会) 指導:古川神父様 ~15:00 静清地区ホームページ担当者会議(草薙教会)
6	日	11:00 14:30	年間第23主日 ミサ 被造物を大切にす世界祈願日 ポルトガル語ミサ	 12:10 13:30	※すべてのいのちを守るためのキリスト者の祈り 教会学校中高生部 教会委員会
10	木		平日のミサ中止(蒲原聖母幼稚園遠足のため)		
12・13	土・日				横浜教区・教区懇談会(軽井沢、御聖体の宣教クララ修道院)
13	日	11:00	年間第24主日 ミサ	11:30	静清地区キリスト教講座「共に歩むための集い」(静岡教会)
14	月		十字架称賛 祝日		
17	木	9:00	平日のミサ(時間変更)	9:40 17:00	清水聖母保育園「祈りの会」(年少・年中・年長)聖堂にて 静清地区司祭会議(パリ外国宣教会)
19	土			15:00 18:00	静清地区「祈る力を育てる」部門「祈りの集い〜テゼの歌を歌いながら」(静岡教会) ブラジル共同体 ロザリオの祈りの集いとカテケージス
20	日	11:00	年間第25主日 ミサ 祖父母と高齢者のための世界祈願日	12:15 12:50	※ミサ中、祖父母と高齢者への祝福・教会学校2学期開始祝福 教会学校 初聖体クラス
23	水			10:00	静清地区教会学校連合リーダー会(草薙教会)
24	木	10:00	平日のミサ	ミサ後	木曜入門講座(第3回)
26	土	13:30	静清地区国際ミサ(静岡教会)~17:00	17:00	土曜入門講座(第6回)
27	日	11:00	年間第26主日 ミサ 世界難民移住移動者の日(献金)	11:30 15:00	静清地区キリスト教講座「共に歩むための集い」(静岡教会) 静清地区「祈る力を育てる」部門会議(2026年度3回目)(草薙教会)
10月					
【ロザリオの月】					
1	木	10:00	平日のミサ		
2	金	10:00	初金のミサ(草薙教会)		
3	土			13:00	静清地区「神の愛を証しする」部門講演会「憲法改正について」~15:00 (静岡教会)笹沼弘志先生(静岡大学)
4	日	11:00 14:30	年間第27主日 ミサ ポルトガル語ミサ	10:45 12:10 13:30	ロザリオの祈り(1連・2連) 教会学校中高生部 教会委員会
8	木	10:00	平日のミサ		

奉仕者表

日	曜日		第1朗読	第2朗読	先唱者	侍者		祝祭日	司式司祭
9/6	日	第1週	ベトナムの方	宮本	村岡明	松浦	古牧		濱田
13	日	第2週	西村	フィリピンの方	五十嵐	松浦	大城		ゴーチェ
20	日	第3週	ポルトガル語又はスペイン語圏	瀧	山下ゆ	松浦	古牧		濱田
27	日	第4週	田代	フィリピンの方	磯部	松浦	大城	世界難民移住移動者の日	濱田

お掃除について

施設清掃は現在お掃除ロボットが稼働しているため、ミサ前または後に有志の方で内陣のモップ掛けと椅子の乾拭き、トイレ掃除をお願いします。トイレ清掃後はトイレ内の表に氏名を記入してください。

- ・毎週木曜日の午前中に清水教会聖堂でミサを行っています。9月は3日午前10:00～、10日はお休みで、17日午前9:00～、24日午前10:00～それぞれミサがあります。朗読奉仕は当日ミサに出られた方の中からお願いします。
- ・9月4日（金）は午前10:00～草薙教会聖堂で初金のミサがあります。
- ・9月21日は敬老の日の祝日ですが、カトリック教会では9月20日の主日を「祖父母と高齢者のための世界祈願日」としています。清水教会ではミサの中で祖父母と高齢者の祝福を行います。祝福をご希望の方は当日の清水教会ミサにご参加ください。
- ・9月27日の主日は「世界難民移住移動者の日」になります。前日の26日土曜日には静清地区の国際交流ミサが静岡教会で予定されています。詳しくは静清地区難民移住移動者の会（コムニタス）からのお知らせをご確認ください。



「〔皆さん、〕互いに愛し合うことのほかは、だれに対しても借りがあつてはなりません。人を愛する者は、律法を全うしているのです。「姦淫するな、殺すな、盗むな、むさぼるな」、そのほかどんな掟があつても、「隣人を自分のように愛しなさい」という言葉に要約されます。愛は隣人に悪を行いません。だから、愛は律法を全うするものです。」

（ローマ 13・8～10）

教会委員会報告

（8月は委員会休会のため、各担当者がオンラインで報告のみいたしました。審議事項は9月委員会での検討となります。）

司祭：濱田壮久 代表委員：村岡 明代、財務委員：谷田 千恵子 財務補佐：齋藤 倫子

典礼委員：松浦 史明 教会学校担当：山本 博美 「祈る力を育てる」：瀧 規子 「信仰を伝える」：山下 ゆふ

「愛を証しする」：代理・村岡明代 一粒会：松浦史明 コムニタス担当：土橋レイ、静清地区共同宣教司牧担当：齋藤倫子

1. 財務委員会（齋藤）

8/2・9の『ベネズエラと熊本の地震募金』は合計¥133,462集まりました。ベネズエラはカリタスジャパン、熊本は福岡司教区へ ¥66,731ずつ送金した。ご協力ありがとうございました。

2. 典礼委員会（松浦）

7/14（火）ミサガイドブックに教会印と持出厳禁のテプラ貼りと正面十字架の台座の高さを調整

8/15（土）10:00聖母被昇天ミサの奉仕者選考を実施し、ミサをお捧げした。

9/2（水）ナザレト工房の聖櫃や聖体ランプ、聖歌番号表等の取り付け作業が実施される。

3. 教会学校（山本）

8/11～12 静清地区教会学校サマーイベント （於：静岡聖光学院）

清水教会からの参加者：仲西ジャスミン、ジア、アレキサンドル、エスパニョーラ・スタスイフト、小川幸、5名と山本リーダー、濱田神父。

※参加費2,000円×5名分、教会財務から支払い済。

9/6 教会学校中高生部

9/20 ミサ中 新学期開始の祝福

12:15 教会学校

13:00 初聖体クラス4回目 実施予定



4. 祈る力を育てる部門（瀧）

7/24（金） レクチオディビナ「つちや会」12名参加 次回：8/21（金）清水教会

毎主日ミサ前に、引き続き「聖フランシスコの平和を求める祈り」を捧げる。

8/29（土）清水教会に於いて「聖公会」植松誠主教様講演会

9/19（土）「祈りの集い～テゼの歌をうたいながら～」（2026年度第2回目）静岡教会15:00

5. 信仰を伝える力を育てる部門（山下）

キリスト教入門講座「共に歩むための集い」を第2・第4日曜日11:30から静岡教会で開催継続中。

6. 神の愛を証しする力を育てる部門（加藤、代理・村岡）

7/4（土）10:00～静岡地区「神の愛を証しする」部門会議；10/3開催の笹沼先生の講演会のテーマを決定「憲法改正について考える～ラウダート・シの観点から～」

8/8（土）10:00部門会議；引き続き笹沼先生の講演会の準備。ポスター、チラシの検討

7. 静岡地区共同宣教司牧委員会

次回全体会議 10/25（土）14:00～（静岡教会）

8. コムニタス（土橋）

9/26（土）13:30から開催予定の静岡地区国際ミサは会場を静岡教会とし、ミサ後にパーティーを実施予定。清水教会フィリピン共同体からも何品か料理を持参する。

9. フィリピンコミュニティ（古牧）

8/15（土）聖母被昇天のミサとパーティーの後で

オフィサーズ・ミーティングを実施した。

教会洗礼台帳に登録する代父母の資格要件の確認や、英語ミサとクリスマスパーティーについて、来日して間もない外国人が日本語会話を学べる無料教室を求めている件について、話し合った。

10. スペイン語コミュニティ

8/22（土）故マルドナード・ホアン・カズヒデさんの納骨式を清水区の峰本院にて濱田神父様司式。

11. ブラジルコミュニティ

ロザリオの祈りとカテケーシスの集いを8/15（土）から8/22（土）に変更した。なお、17:00から八幡教会の篠原さんによる中高生へのギター教室、18:00から祈りの会とする。

8/2（日）ポルトガル語ミサ後、共同体で神父様も一緒にみなと祭りの花火大会を観覧した。

12. 7～8月中のLINE審議とその他の報告（日付順不同）

①外倉庫に保管中の扇風機について 使用予定がないため、作動を確認後、聖光学院に寄贈した。

②お掃除ロボットの水拭き掃除を週1回実施中。今後、スマホから操作する人を増やすことを検討。

③9/20（日）は「祖父母と高齢者のための世界祈願日」のため、ミサ中に高齢者への祝福。

また同日に、「教会学校新学期祝福」も行う。

④大石神学生の夏休みで、清水教会に来れる日は8/15（土）、16（日）、23（日）、9/13（日）

⑤加藤工務店による7月28日（火）小修理工事の立ち合い報告（担当：金指）

1)ユーティリティおよび台所の排水系統の汚水の臭いの原因究明と修理

2) 女子トイレ折れ戸、香部屋の聖堂側造作扉の戸当たり、キッチンと外を繋ぐ扉の鍵等修理

3) 駐車場照明のタイマーの不具合の点検と今後の修理計画の策定※保証期間につき部品を交換

⑥7/20（月・海の日）10時、千代田教会から18名の巡礼団がみえた。濱田神父様が教会の説明を行い11:00からミサ、昼食をはさんで清水教会信徒も加わり分かち合いの時をもった。



神父様より

- 1) グーグルマップの写真や詳細情報について、清水教会としてオーナー確認作業を行い、教会のオープン時間情報、ミサ時間、写真等を更新しました。
- 2) 社会福祉法人聖母福祉会による下の駐車場入り口の舗装工事等が完了しました。
- 3) 清水聖母にお子さんを通わせているスリランカ出身の江田さんから幼児洗礼の依頼がありました。
- 4) 反射材付カラーコーンを事故のあったフェンス前（南側の斜路）に設置。動かさないでください。
- 5) 9/2（水）10:00から聖堂内の聖櫃、聖体ランプ、聖母像台座等の設置、及び家具納入、午後には写真家による竣工撮影の打ち合わせが行われます。
- 6) 【待降節黙想会について】11/29（日）10:00黙想講話、11:00ミサ、ミサ後ゆるしの秘跡～13:00の日程で二俣川教会助任司祭のホアン・ドゥック・ナン神父様がお引き受けくださいました。
- 7) 8/11～12（火・水）は静清地区教会学校連合リーダー会サマーイベントとして、静岡聖光学院で合宿が行われました。「平和の作り手—すすんで仕える者になろう」をテーマとし、参加した子供たちは一人ひとりロザリオを手作りし、全員でロザリオ一環を平和の元后聖マリアに捧げました。
- 8) 8/30（日）は第5日曜日なので古川神父様の司式です。祭服の準備等よろしくお願いします。
- 9) 9/5（土）15:30から静清地区共同宣教司牧委員会ホームページ委員会を草薙教会で開催します。今後どのようにデジタルアーカイブを維持するかについても話し合う予定です。
- 10) 9/7～8（月・火）横浜教区司祭評議会主催の研修会「司祭の集い」が開催されます。テーマは『高齢者の司牧』となっています。
- 11) 清水教会の木曜日ミサは、8/27（木）9/10（木）は蒲原聖母幼稚園の行事のため中止となります。
- 12) 9/12～13（土・日）に横浜教区宣教司牧評議会主催の教区懇談会が軽井沢のご聖体の宣教クララ会黙想の家で開催されます。静清地区からは2名の信徒と私が参加のため9/13の主日ミサはゴーチェ神父様の司式です。
- 13) 現在、月に1回、木曜日の10:00ミサ後と土曜日17:00から入門講座を清水教会で開講しています。来年の復活徹夜祭での洗礼希望の皆様の歩みが着実に主キリストに至るものとなるようどうぞお祈りください。

※次回委員会 9月 6日（日）13:30～

記録 テレジア 村岡 明代



8/2(日) 谷田さんによるビザ教室
お祝い用にたくさん作り、一部は冷凍し、
8/15ミサ後のパーティに焼いてお出ししました



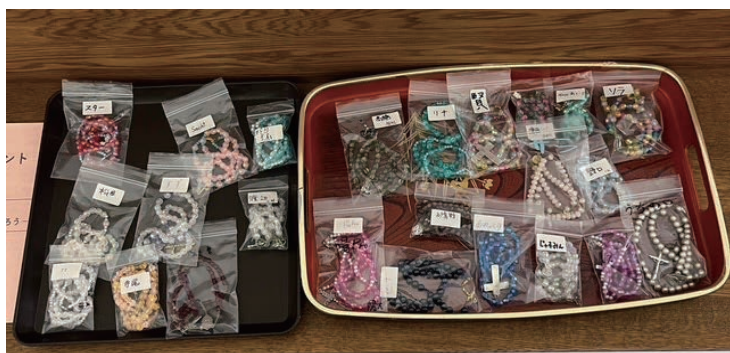
8/15(土) ミサ後のミニパーティー



参加された方々



参加された皆さんも楽しそうでした



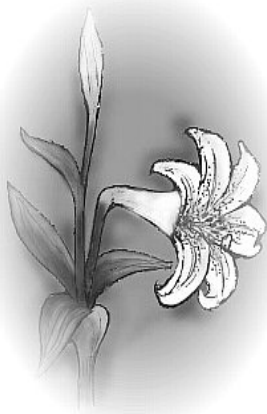
パーツを選んで完全にオリジナルのロザリオを作り、お祈りもしました。



いつも大盛り上がりのゲーム

セシリア・ジャンヌダルク 山本 博美

お知らせ



7月28日（火）蒲原地区のマリア・テレジア櫻井保子さんが帰天なさいました。葬儀はご主人様と同じお墓に入るためにお寺での法要となりましたが、8月2日（日）の主日ミサ中に追悼の意向で祈りをお捧げしました。永遠の安息をお祈りください。

8月14日（金）北部のマリア・ゴレッティ松坂輝子様のご帰天なさいました。8月3日に87歳になったばかりでした。永遠の安息をお祈りください。病院からご自宅にお戻りになった時点で病者の塗油の秘跡、臨終の祈り、帰天直後の祈りをお捧げしました。葬儀ミサ・告別式は8月17日（月）清水教会聖堂で捧げられました。

千代田教会からの巡礼団の皆さんをお迎えしました

7月20日（月・海の日）午前10時に千代田教会と一部静岡教会の方も含め18名の皆さんが、新しくなった清水教会を訪問してくださいました。到着後、濱田神父様から清水教会創始者のル・ドラエ神父様の足跡や清水教会の歴史、そして新たな建物についてもお話がありました。特に十字架の道行を寄贈して下さった東京徳田教会との繋がりはとても興味深く、ドラエ神父様とフロジャック神父様との友情と導きを深く感じました。11時からのミサには、ちょうどその日清水港に着いたクルーズ船から聖堂訪問に来た方も3人いらっしゃって、一緒にあずかりました。

昼食をはさんで、午後は3つのグループに分かれてわかち合いの時間をすごしました。テーマは「私はなぜ教会へ行くの　ー魅力ある教会とは？ー」でしたが、難しく考えず、自分が日ごろ教会に行く目的などを一人一人話しました。私と同じグループになったあるご婦人は「教会に行くことが習慣となっているので行かずにはいられない」とおっしゃっていました。本当に「教会＝神さまの家＝自分の家」となっているのだなと感じました。　分かち合いの時間はそれほど長くはなかったですが、それぞれが一言づつでもお話して和やかな時間を過ごせて良かったです。千代田教会は来年6月に静岡教会と一緒にになるので、千代田教会としての巡礼は最後だそうです。最後の巡礼地に清水教会を選んでいただき嬉しかったです。千代田と清水は同じ静岡市なので、またお互いに交流したいと思います。おもてなしをし、一緒にわかちあいにも参加した清水教会の皆さんありがとうございました。

テレジア 村岡 明代



皆さんとの楽しいひととき



2015年5月、教皇フランシスコは回勅「ラウダート・シー共に暮らす家を大切に」を発表し、すべての被造物は互いにつながっているがゆえに、互いに調和のうちに生きていく道を探ることの重要性を説きました。それを軸に現在、カトリック教会は「共に歩む」(シノドス) 意味を確認しながら「キリスト者の共同体として、すべてのいのちを守り、知恵と勇気をあかし」していくことが求められています。横浜教区ではそうした具体的な役割を各地区の「神の愛を証しする力を育てる部門」が特に担い、考察、実行することが教区長から要請されています。

そこで静清地区「神の愛を証しする力を育てる部門」では、昨年2月、格差の現実、食品ロスなどの観点から「フードバンクふじのくに から見える静岡市民の生活」(講師：望月健次(フードバンクふじのくに事務局長))、今年2月には原子力について見つめ直すための「原子力発電について考える ラウダート・シーへの理解を深めるために」(講師：渡辺敦雄師(工学博士))の講演会を行ってまいりました。それぞれの講演会で普段ではあまり見えない、考慮されてない、大変深刻な現実、課題、問題提起を得ることができました。

そしてこの度、10月3日(土)には「憲法改正について考える」(講師：笹沼弘志師(静岡大学教授・憲法学者))と銘打って静岡教会にて講演会を行うこととなりました。今日、ご存知の通り「憲法改正」議論が急速に高まっています。そうした中、わたしたちはそもそも憲法とは何か、そして憲法改正を行おうとする動機、原因、そしてそれにより目指そうとしている社会や国家の方向性、目的とは何か、この時期だからこそ、より深くその事実、内容について考え、認識し、何よりも祈らなければいけないと思います。

ラウダート・シーの中心的テーマの一つは総合的なエコロジーで「神と、他者と、自然と、自分自身との調和ある関係を追及するもの」(LS10)です。そうした中「戦争、種々の暴力や虐待、もっとも脆弱な者の放置、自然への攻撃、・・・が露わになっている今日のわたしたちの状況」(LS66)は、その調和の乱れの結果として指摘されています。そのためにも本回勅の中で何度も繰り返されるテーマの一つに「国際的な政策、及び地域的な政策が有する重大な責任」(LS16)が挙げられています。また「今日、共通善に鑑みれば、政治学と経済学が、いのち、とくに人間の生に資する率直な対話に参加することが緊急に必要とされています」(LS189)。そして「政治は決して経済に服従してはならない」(LS189)とも訴えています。

まさにこの回勅の中心的指摘は環境危機や社会危機は別個のものではなく、互いに不可分に結びついた「一つの複雑な危機」である、という点です。「共通善の要求は社会的な平和、何らかの秩序がもたらす安定や安心であり、それらの達成は、配分的正義への格別の配慮なくしてはできません。配分的正義が損なわれるときは、いつも暴力がその後にやってきます。一つの全体としての社会、中でも国家は、共通善を保護し促進する義務を負っています」(LS157)。こうした観点からも憲法の在り方を見つめることはとても重要なことと受けとめられます。是非ご一緒に考えていきたいと思います。

静清地区 神の愛を証しする力を育てる部門主催 講演会

テーマ「憲法改正と一人一人の尊厳と自由」

講師 笹沼弘志 氏(静岡大学教授、憲法専攻)

日時 2026年10月3日(土) 13:00～15:00

場所 カトリック静岡教会聖堂



※昨今「憲法改正」議論が急速に高まっています。そうした中、私たちはそもそも憲法とは何か、そして憲法改正を行おうとする動機、原因、目指そうとしている社会や国家の方向性など、この時期だからこそ知り、考えてみましょう。

申し込みは不要です。当日直接会場へお越しください。駐車台数には限りがあるので、乗り合わせまたは公共交通機関でお願いします。